

平成24年10月18日

行政視察活動記録

総務常任委員会
委員長 谷木 静雄

年月日	平成24年10月11日 から 平成24年10月12日 まで
場 所 及び目的	和歌山県 みなべ町議会 防災対策について 三重県 紀宝町議会 防災対策について

年月日	平成24年10月11日（木）
相手方 及び目的	みなべ町 総務課 防災マップ、防災ラジオ等を中心とした防災対策について
内容・ 結果等	<p>和歌山県みなべ町は、平成16年に旧南部町と旧南部川村が合併して誕生した町であり、合併当初から、特に防災対策については行政と町民が、危機感を持って取り組んでいる。</p> <p>平成19年には、津波浸水予想図、液状化危険度分布図、津波ハザードマップ、洪水ハザードマップを作成した。その後平成22年10月に自主防災会相互の連携を密にし、自主防災体制の充実、強化を図るために、町内34地区の自主防災会長等で構成する「みなべ町自主防災会連絡協議会」を設立した。</p> <p>旧南部川村地域では防災情報の提供手段が屋外スピーカーに限られていたが、強風・台風時には「放送が聞き取りにくい」との住民の声があり、平成23年10月議会に補正予算を計上、旧南部川村地区の全世帯に防災行政無線を受信できる防災ラジオを無償で配布し、活用しているとのことであった。</p> <p>みなべ町は、災害から地域住民を守るため、一人ひとりが防災情報を知り、適切な判断、行動ができるようにと、防災行政無線を始め、気象情報や避難発令情報を提供する「防災わかやまメール配信サービス」や、テレビ和歌山がデータ放送で提供する「あんぜん情報24時」などを運用している。</p> <p>また、災害、避難情報の伝達を補完するシステムとして、携帯電話会社が提供する「緊急速報メール（エリアメール）」、地域が孤立した場合のために衛星携帯電話4台を整備していること、危険個所の状況を把握するため、防災災害カメラを設置し、みなべ町のホームページから24時間状況を見ることができるようになっている。</p> <p>このほか、研修や防災訓練にも力を入れており、自主防災会を中</p>

心に小学校区単位で訓練を企画して実施し、地域全体での防災に関する認識の共有を目指していること、要援護者対策における課題などについて率直な意見の交換を行い、今後のさぬき市における防災対策の参考となる点の多い、実りある視察であった。



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 6 名、総務課 1 名、議会事務局 1 名
計 8 名

年 月 日	平成 2 4 年 1 0 月 1 2 日 (金)
相 手 方 及 び 目 的	紀宝町 総務課・産業建設課 防災対策への取り組み、野外スピーカーの設置状況、防災ラジオの効果及び平成 2 3 年の台風 1 2 号による被害の状況と復興への取り組みについて
内 容 ・ 結 果 等	<p>紀宝町は、平成 1 8 年に旧紀宝町と旧鶯殿村が合併して誕生した町であり、平成 2 3 年の台風 1 2 号において、甚大な被害を受けたことから、それらの災害を教訓とした災害対策への取り組みと、被害からの復興への取り組みについて、説明を受けた。</p> <p>紀宝町においては、市内 4 8 か所に屋外スピーカーを設置し、災害時の放送に対応していたところ、昨年台風 1 2 号の際には、屋外スピーカーの電源が浸水するなどして故障したり、風雨の中で放送が聞き取りにくい場合があり、住民への防災情報を確実に提供するために、防災行政無線の戸別受信機を設置していない世帯に防災ラジオを配布することにより、全世帯に防災情報を提供するようにしている。</p> <p>また、実際に被害を受けた現場を視察し、死者 1 名、行方不明者 1 名、また、全壊 6 1 世帯、大規模半壊 3 1 3 世帯を含む住宅被害 1 0 0 4 世帯、ピーク時の避難者数 1 0 3 6 名、公共施設の被害総額約 3 6 億円、農業、商工業の被害総額約 2 9 億円、災害廃棄物処理量約 1 万 2 4 0 0 トンという甚大な被害の傷跡に驚くばかりであり、復興率としては現在、約 8 0 %ということであった。</p> <p>災害が発生した際には、固定電話、携帯電話が通じず、道路が寸断されるなどして、状況把握が難しくなることが説明され、また、自主防災組織の組織率は約 9 5 %であり、避難所の開設は、地域の自主防災組織の判断でなされること、避難路の計画なども自主防災組織がおこなっていることなど、地域ごとに災害に対応しようとしている。</p> <p>このほか、要援護者対策を実施する中で、支援者の負担の増大についてや、避難勧告を行っても、なかなか避難をしない住民がいたことなど、災害時の課題などについても、率直な意見交換ができた。</p> <p>現在、防災対策と復興対策、どちらも早急に対応が必要な状態の中で、行政と町民が共に協力して復興と防災対策に取り組んでおり、町民と行政の太い絆ができた町であると確信し、視察を終えた。</p>



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 6 名、総務課 1 名、議会事務局 1 名
計 8 名